

数学I 学 習 指 導 案

日 時	平成27年6月15日(月) 第2時限				
講 座	1年9組	場 所	109教室	指導者 田淵 紋子	
単 元	第2章 2次関数		教科書	新編 数学I (数研出版)	
指導目標	1 2次関数のグラフの x 軸との共有点の x 座標と2次方程式の解との関連について理解させる。 2 座標平面上の2次関数のグラフの位置を利用した2次方程式の解の分離問題に習熟させる。	指導計画	第3節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式・・・・・・・・・・2時間 6 2次関数のグラフと x 軸の位置関係・・・・・・・・・・3時間 7 2次不等式・・・・・・・・・・6時間 補充問題・・・・・・・・・・1時間 (本時はその1時間目)		
本時の主題	2次方程式の2つの解の符号について、2次関数のグラフをもとにして視覚的に捉えて理解し、習熟させる。				
前時の課題	授業プリントを解いてくる。				
目 標	2次方程式の2つの解の分離問題について習熟させる。				
本時の指導過程	指 導 内 容	時間	指導上の留意点	資料・教具・評価規準等	
	導 入	1 課題の確認をする。 2 本時の学習内容を確認する。	5	・2次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標が、2次方程式の実数解となることを再確認させる。	【評価方法】 ・課題プリント 【評価規準】 ・2次関数のグラフと x 軸との共有点の座標が求められる。 (知識・理解)
	展 示	1 例題(1)、(2)を考える。	20	・2次方程式の解の符号と2次関数のグラフと x 軸の共有点の x 座標の符号とが一致することを理解させ、2次関数のグラフを利用することの有用性を認識させる。 ・教具を利用し、視覚的に印象付ける。	【評価方法】 ・授業プリント ・学習活動への取り組み ・観察 【評価規準】 ・平方完成を利用して、係数に文字を含んだ2次関数のグラフの軸と頂点が求められる。 (数学的な技能)
	開 発	2 例題(3)を考える。 3 プリントの練習問題を解く。	10 10	・2次方程式の2つの解が異符号の場合について同様にグラフを用いて考えさせる。 ・机間指導を行い、理解状況を把握する。	・2次関数のグラフと x 軸との共有点の個数や位置関係を頂点や軸の符号から考察することができる。 (数学的な見方や考え方) ・連立不等式を解くときに図を積極的に利用する。 (関心・意欲・態度)
	整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。	5	・本時の要点を確認させる。	・課題プリント
	次時の課題	課題プリント			
備 考	普通科 生徒数 40名(男子 21名、女子 19名)				